

中期目標の達成状況報告書 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	27頁・5～6行	高校以下の教育の状況，教育課程の変化等に対応できるよう，教務情報システムを <u>入学者選抜データを</u>	高校以下の教育の状況，教育課程の変化等に対応できるよう，教務情報システムを， <u>入学者選抜データを</u>
2	53頁・2行	学生に <u>自然科学へのの理解</u> と探究心を深めるため	学生に <u>自然科学への理解</u> と探究心を深めるため
3	54頁 資料 教中2-小 7-2 (3) 18行	4)最終的には合宿研修 <u>で</u> を通して全体像を仕上げ，「手作り東北大学物語」としてまとめる。	4)最終的には合宿研修 <u>を</u> 通して全体像を仕上げ，「手作り東北大学物語」としてまとめる。
4	73頁 資料 教中3-小 2-1	9-10 セメスター <u>二</u> 大学院生	9-10 セメスター <u>二</u> 大学院生
5	77頁・19行	a) <u>連する</u> 中期計画の分析	a) <u>関連する</u> 中期計画の分析
6	93頁 資料 教中3-小 9-7 4行	評価報告書の分析に <u>基づ</u> 評価の高い授業を	評価報告書の分析に <u>基づき</u> 評価の高い授業を
7	117頁・11行	全学的推進のため <u>や</u> ，異分野を融合した	全学的推進のため， <u>異分野</u> を融合した
8	122頁・11行	重点的に取り組む領域として推進し，別紙の <u>とおりのとおりの</u> 優れた業績を	重点的に取り組む領域として推進し，別紙の <u>とおりの</u> 優れた業績を

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	Ⅱ-分析項目Ⅰ-(1) 観点「教育内容、…」 資料(1)2005年度2(4頁)	期日：平成17年11月10日… 講師： <u>斎藤倫明（文学研究科教授）</u> 題目： <u>シラバス作成に関する教員FD</u>	期日：平成17年11月10日… 題目： <u>シラバス作成に関する教員FD</u> 講師： <u>齋藤倫明（文学研究科教授）</u>
2	Ⅱ-分析項目Ⅰ-(1) 観点「教育内容、…」 資料(1)2007年度(4頁)	期日：平成20年2月14日… 講師： <u>池田忠義（学生相談所）</u> 題目： <u>メンタルヘルス講演会…</u>	期日：期日：平成20年2月14日… 題目： <u>メンタルヘルス講演会…</u> 講師： <u>池田忠義（学生相談所）</u>
3	Ⅱ-分析項目Ⅱ-(1) 観点「学生や…」 (6頁・1～2行)	東北大学文学部 <u>規定</u> により、…	東北大学文学部 <u>規程</u> により、…
4	Ⅱ-分析項目Ⅱ-(1) 観点「学生や…」 (6頁・2行)	…単位互換、外国の <u>大学</u> で取得した…	…単位互換、外国の <u>大学等</u> で取得した…
5	Ⅱ-分析項目Ⅱ-(1) 観点「学生や…」資料(1) 枠内-第14条(6頁)	学生が、外国の <u>大学</u> において…	学生が、外国の <u>大学等</u> において…
6	Ⅱ-分析項目Ⅱ-(1) 観点「学生や…」 資料(1)枠外(6頁)	(出典：「東北大学文学部 <u>規定</u> 」…)	(出典：「東北大学文学部 <u>規程</u> 」…)
7	Ⅱ-分析項目Ⅳ-(1) 観点「学生が…」 (9頁・9行)	… <u>しかしながら</u> 、4年次在籍者の…	… <u>一方</u> 、4年次在籍者の…

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	Ⅱ-分析項目Ⅰ-(1) 観点「教育内容、…」 (3頁・8行)	…が採択され、 <u>これよって</u> …	…が採択され、 <u>これによって</u> …
2	Ⅱ-分析項目Ⅰ-(1) 観点「教育内容、…」 資料(1)2005年度2(4頁)	期日：平成17年11月10日… 講師： <u>斉藤倫明（文学研究科教授）</u> 題目： <u>シラバス作成に関する教員FD</u>	期日：平成17年11月10日… 題目： <u>シラバス作成に関する教員FD</u> 講師： <u>齋藤倫明（文学研究科教授）</u>
3	Ⅱ-分析項目Ⅰ-(1) 観点「教育内容、…」 資料(1)2007年度(4頁)	期日：平成20年2月14日… 講師： <u>池田忠義（学生相談所）</u> 題目： <u>メンタルヘルス講演会…</u>	期日：期日：平成20年2月14日… 題目： <u>メンタルヘルス講演会…</u> 講師： <u>池田忠義（学生相談所）</u>
4	Ⅱ-分析項目Ⅱ-(1) 観点「学生や…」資料(3) 枠内-第14条(6頁)	…の許可を得て、 <u>本研究会委員会</u> が…	…の許可を得て、 <u>本研究科委員会</u> が…
5	Ⅱ-分析項目Ⅱ-(1) 観点「学生や…」資料(3) 枠内-第14条(6頁)	…を履修することが <u>出来る</u> 。	…を履修することが <u>できる</u> 。
6	Ⅱ-分析項目Ⅱ-(1) 観点「学生や…」資料(3) 枠内-第15条(6頁)	…の許可を得て、 <u>本研究会委員会</u> が…	…の許可を得て、 <u>本研究科委員会</u> が…
7	Ⅱ-分析項目Ⅱ-(1) 観点「学生や…」資料(3) 枠内-第15条(6頁)	…を受けることが <u>出来る</u> 。…	…を受けることが <u>できる</u> 。…
8	Ⅱ-分析項目Ⅱ-(1) 観点「学生や…」資料(3) 枠内-第15条(6頁)	…を受けることが <u>出来る</u> 期間は、…	…を受けることが <u>できる</u> 期間は、…
9	Ⅱ-分析項目Ⅱ-(1) 観点「学生や…」資料(3) 枠内-第17条(6頁)	…本研究科において <u>取得</u> した単位…	…本研究科において <u>修得</u> した単位…
10	Ⅱ-分析項目Ⅱ-(1) 観点「学生や…」資料(3) 枠内-第17条(6頁)	…単位又は <u>研究指導</u> とみなす。	…単位又は <u>受けた研究指導</u> とみなす。

	頁数・行数等	誤	正
11	Ⅱ-分析項目Ⅱ-(1) 観点「学生や…」 資料(3)枠外(6頁)	(出典：「東北大学大学院 文学研究科規定」…)	(出典：「東北大学大学院 文学研究科規程」…)

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	3 - 3・11行	合計 <u>48</u> 名	合計 <u>55</u> 名

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	4－8・20行	<u>修士課程</u>	<u>前期2年の課程</u>
2	4－8・21行	<u>博士課程</u>	<u>後期3年の課程</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 10-19 頁・8 行	資料 2 - 5 - <u>3</u> のとおり	資料 2 - 5 - <u>4</u> のとおり
2	教育 10-20 頁・資 料 2 - 5 - 3 表題	資料 2 - 5 - <u>3</u>	資料 2 - 5 - <u>4</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 11-12 頁・10 行	資料 2 - 4 - <u>3</u>	資料 2 - 4 - <u>4</u>
2	教育 11-15 頁・3 行	開学時（平成 17 年）から資料 2-1- <u>1</u> に示した体制により学生からの要望を教育内容の改善へ反映させている。	開学時（平成 17 年）から学生からの要望を教育内容の改善へ反映させている。（下線部削除）
3	教育 11-15 頁・21 行	資料 2 - 3 - <u>1</u>	資料 2 - 3 - <u>2</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 14-3・15 行	<u>付</u> 属施設	附属 <u>施</u> 設
2	教育 14-3・15 行	創生応用医学センター	創生応用医学 <u>研</u> 究センター
3	教育 14-6・4 行	入学者 <u>選</u> 業務	入学 <u>試</u> 験業務
4	教育 14-8・47 行	ポストドク	ポストドク <u>タ</u> ー

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 15-4・ 8 行 教育 15-4・ 10 行 教育 15-4・ 表 7	<u>附属病院</u>	<u>大学病院</u>
2	教育 15-15・ 表 21・ 4 行	1 名以上を <u>含</u> 審査委員	1 名以上を審査委員
3	教育 15-17・ 11 行	<u>各学科</u>	<u>各専攻</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 18-3・1 行	サイクロトロン <u>ラ</u> ジオアイソトープセンター	サイクロトロン・ <u>ラ</u> ジオアイソトープセンター
2	教育 18-14・20 行	<u>4</u> 年	4年 <u>次</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 19-5・36 行	シラバス記載例)	シラバス記載例) 。
2	教育 19-5・40 行	っている。(資	っている(資
3	教育 19-9・16 行	示された。(資	示された(資
4	教育 19-10・15 行	学振特別研員	学振特別研究員
5	教育 19-11 ・14 行～15 行	学振特別研員	学振特別研究員

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 20-5 7 行	ファカルティ・ <u>デ</u> ベロップメント	ファカルティ・ <u>ディ</u> ベロップメント
2	教育 20-8 14 行	<u>全学</u> 教育科目	<u>全学</u> 教育科目 (1 文字下げ)
3	教育 20-13 12 行	<u>学生</u> の	<u>学</u> 生の (1 文字下げ)
4	教育 20-13 15 行	<u>行</u> なっている。	<u>行</u> っている。
5	教育 20-22 表 17 3 行目	外形 <u>評</u> 価	外部 <u>評</u> 価
6	教育 20-22 表 17 13 行目	高い率を <u>達</u> している。	高い率に <u>達</u> している。
7	教育 20-22 9 行	十分 <u>あ</u> がっている	十分 <u>上</u> がっている
8	教育 20-24 26 行	表 <u>17</u>	表 <u>18</u>
9	教育 20-24 31 行	実施する <u>こと</u> が決定している。	実施 <u>し</u> ている。
10	教育 20-25 8 行	学生 <u>個人</u> 自己の勉学目標	学生 <u>個人</u> に自己の勉学目標

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 21-2 18 行	研究指導能力を	研究指導できる能力を
2	教育 21-2 23 行	工学研究科が <u>を</u> 修得すること	工学研究科が目標とする能力を修得すること
3	教育 21-4 表 3	平成 19 年度後期課程 3 年次定員 217	平成 19 年度後期課程 3 年次定員 218
4	教育 21-4 表 3	平成 19 年度後期課程定員計 651	平成 19 年度後期課程定員計 652
5	教育 21-6 10 行	__(4)	_(4) (先頭を上の段に合わせる)
6	教育 21-10 25 行	<u>ファカルティディベロップメント</u>	<u>ファカルティ・ディベロップメント</u>
7	教育 21-14 14 行	<u>インターネット・スクール</u>	<u>インターネット</u> スクール
8	教育 21-16 10 行	<u>インターネット・スクール</u>	<u>インターネット</u> スクール
9	教育 21-17 27 行	<u>涵養目的</u>	<u>涵養を目的</u>
10	教育 21-20 13 行	輩出される <u>。そのため、</u> 効果の	輩出された <u>。</u> 効果の

	頁数・行数等	誤	正
11	教育 21-20 表 20	<u>日本</u> 日本学術振興会	日本学術振興会
12	教育 21-21 表 21	<u>日本</u> 日本学術振興会	日本学術振興会
13	教育 21-22 19 行	<u>日本</u> 日本学術振興会	日本学術振興会
14	教育 21-23 22 行	実際	__実際 (1 文字下げ)
15	教育 21-26 4 行	<u>あり</u> 高い	<u>あり</u> 、高い
16	教育 21-28 20 行	外形 <u>評</u> 価項目	外部 <u>評</u> 価項目
17	教育 21-29 表 30 タイトル部分	平成 <u>16</u> ～19 年度	平成 <u>15</u> ～19 年度
18	教育 21-29 表 30 前期課程	<u>18</u> 年度 (電子情報システム・応物系の年度)	15 年度
19	教育 21-29 表 30 後期課程	<u>18</u> 年度 (電子情報システム・応物系の年度)	15 年度
20	教育 21-32 6 行	<u>達成</u> 記録簿	<u>達成度</u> 記録簿
21	教育 21-33 11 行	<u>日本</u> 日本学術振興会	日本学術振興会

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 22-2・16 行	検索でき	検索 <u>が</u> でき
2	教育 22-3・表 1 農 学部の教育組織	●生命素子機能※●活性分子動態※ ●分子情報化学※●生命構造化学※	●生命素子機能●活性分子動態 ●分子情報化学●生命構造化学
3	教育 22-7・30 行	準備学習 <u>の</u> についても	準備学習 <u>に</u> についても
4	教育 22-8・3 行	多様な学 <u>対</u> 応した	多様な学生 <u>に</u> 対応した
5	教育 22-15・13 行	<u>出来</u> ている。	<u>でき</u> ている。
6	教育 22-16・12 行	公表している（表 <u>14</u> ）。	公表している（表 <u>15</u> ）。

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 23-3・7 行	平成 <u>12</u> 年にはこれまでの	平成 <u>15</u> 年にはこれまでの
2	教育 23-3・8 行	海洋生物資源教育研究センター	<u>附属</u> 海洋生物資源教育研究センター
3	教育 23-3・8 行	新たに複合生態フィールド教育研究センター	新たに <u>附属</u> 複合生態フィールド教育研究センター
4	教育 23-3・9 行	平成 15 年度に	<u>また、</u> 平成 15 年度に
5	教育 23-4・6 行	<u>それ</u> 平成 18、19 年度以降は	平成 18、19 年度以降は
6	教育 23-4・17 行	助教 8 名の計 <u>9</u> 名であり、	助教 8 名の計 <u>10</u> 名であり、
7	教育 23-9・44 行	バイオテクノロジーの <u>精神</u> 推進	バイオテクノロジーの推進
8	教育 23-12・32 行	その保管は <u>一括して</u> 教務係で一括して行っている。	その保管は教務係で一括して行っている。
9	教育 23-16・14 行	国内・国外の学会発表数は着実に増加し、	<u>論文等発表数と</u> 国内・国外の学会発表数の <u>総数</u> は着実に増加し、
10	教育 23-20・5 行	90%以上 <u>も</u> 高水準であり、後期課程の満期修了学した学生の博士学位を <u>取得</u> 率は	90%以上 <u>と</u> 高水準であり、 <u>また</u> 後期課程の満期修了学した学生の博士学位の <u>取得</u> 率は
11	教育 23-20・21 行	<u>職場に職を得て</u> おり、	<u>職場で</u> あり、

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 24-3・3 行	それ取り囲む	それ <u>を</u> 取り囲む

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	Ⅱ-分析項目Ⅰ-(1) 資料 1-5 表内(7 頁)	<u>若手研究 (スタートアップ)</u> 件数	※ <u>若手研究 (スタートアップ)</u> 件数
2	Ⅱ-分析項目Ⅰ-(1) 資料 1-5 表外(7 頁)	※平成 14 年度「 <u>若手研究</u> 」新設	※平成 14 年度「 <u>若手研究 (B)</u> 」新設

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 4-13 頁・1 行	<u>1010</u> は貧困と	<u>1009</u> は貧困と

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 8-2・19 行	<u>研究成</u>	<u>研究成果</u>
2	研究 8-7 資料 4・国内欄 8 行	<u>理化学研究所、</u>	削除
3	研究 8-7 資料 4・国内欄 13～14 行	<u>サイクロトロンセンター</u>	<u>サイクロトロン・ラジオアイソトープセ ンター</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 9-2 31 行	<u>先端学術融合工学研究機構</u> においては	<u>先端学術融合工学研究機構(CAST)</u> においては
2	研究 9-3 表 1	先進原子力 <u>総合</u> システム	先進原子力 <u>統合</u> システム
3	研究 9-3 表 2	CNRS <u>付属</u>	CNRS <u>附属</u>
4	研究 9-5 9 行	<u>されており</u> いづれも	<u>されており、</u> いづれも
5	研究 9-13 23 行	<u>600 万円</u> 平成 19 年度	<u>600 万円、</u> 平成 19 年度
6	研究 9-13 27 行	<u>増加しており</u> 平成	<u>増加しており、</u> 平成
7	研究 9-14 10 行	<u>上がっている。</u>	<u>上がっていることを示している。</u>
8	研究 9-15 14 行	基盤 S, A の <u>採択者</u> は	基盤 S, A の <u>採択者</u> には

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 10-4・18 行	東北大学データベース	東北大学 <u>情報</u> データベース
2	研究 10-6・39 行	平成 1 5 年度 <u>の</u> 比べ、	平成 1 5 年度 <u>に</u> 比べ、

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 11-4・ 1 行	『国際文化研究論集』 刊行	『国際文化研究論集』 <u>を</u> 刊行
2	研究 11-4・ 9 行	授与しているこれに	授与している。 <u>。</u> これに
3	研究 11-7・ 下から 2 行	収めことを	収め <u>た</u> ことを

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究15-9・ 12行	結びついて居る	結びついて <u>いる</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	17-5 頁・23 行	(寄附講座)	(寄附研究部門)

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 18-2・11 行	准教授 10、	准教授 10 <u>名</u> 、
2	研究 18-9・28 行	P18- <u>12</u>	P18- <u>13</u>
3	研究 18-9・29、 30 行	(<u>表 12：受託研究・民間との共同研究・ 学術指導・奨学寄附金受入状況、P18-12</u>)	(<u>表 11：競争的資金受入れ状況、P18-12 及び表 12：受託研究・民間との共同研 究・学術指導・奨学寄附金受入状況、 P18-13</u>)
4	研究 18-9・31 行	特許取得件数の増加（平成 15 年 2 件→ 平成 <u>19</u> 年 9 件）	特許取得件数の増加（平成 15 年 2 件→ 平成 <u>18</u> 年 9 件）

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	13 頁 表 17	マイクロアーキテクチャ研究教授	マイクロアーキテクチャ研究 <u>部</u> 教授
2	13 頁 表 17	先端情報通信研究領域創成分教授	先端情報通信領域創成研究分野教授

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究20-4 表2の6行目	高効率紫外発光__素子 注釈：文字間に空白がある	高効率紫外発光 <u>素子</u>
2	研究20-5 表5の1行目	<u>課題名</u>	<u>研究課題</u>
3	研究20-5 表6の1行目	<u>課題名</u>	<u>研究課題</u>
4	研究20-5 表7の1行目	<u>課題名</u>	<u>研究課題</u>
5	研究20-5 表8の1行目	<u>課題名</u>	<u>研究課題</u>
6	研究20-5 表9の1行目	<u>課題名</u>	<u>研究課題</u>
7	研究20-6 表11の冒頭	東北大 <u>の</u> 分野別	東北大学 <u>の</u> 分野別
8	研究20-9 表15の29行目	2008 3 27 <u>助</u> 教授 高橋正彦	2008 3 27 <u>准</u> 教授 高橋正彦
9	研究20-12 本文の4行目	これより、表10、 <u>_</u> 12～14、22	これより、表10、 <u>_</u> 12～14、22
10	研究20-12 本文の10行目	表10、 <u>_</u> 12～14、 <u>_</u> 22	表10、 <u>_</u> 12～14、 <u>_</u> 22

	頁数・行数等	誤	正
11	研究20-13 表24の12,13行目	2005. <u>3</u> -2006. <u>2</u> 1998. <u>5</u> -2007. <u>3</u>	2005/3-2006/2 1998/5-2007/3
12	研究20-14 表24の8行目	2001/7-2006/9/	2001/7-2006/9
13	研究20-14 表24の24,25行目	日本物理学会 代議員 2005/9/1-2007/8/31 日本物理学会 代議員 2005/9/1-2007/8/31 注釈：表記の重複	日本物理学会 代議員 2005/9/1-2007/8/31
14	研究20-16 表24の1行目	2006/10/ -2008/9	2006/10-2008/9
15	研究20-18 12行目	(表23, <u>24</u> 参照)	(表23, <u>24</u> 参照)
16	研究20-18 14行目	(表10, <u>12</u> , <u>13</u> 、図3、	(表10, <u>12</u> , <u>13</u> 、図3、
17	研究20-18 16行目	工場が完成予定である。 <u>。</u>	工場が完成予定である。 <u>。</u>
18	20-20 16行目	(表14, <u>15</u> 、29、	(表14, <u>15</u> 、29、
19	20-22 本文の3行目	新聞紙掲載	新聞掲載

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	21-5・17-18行	学界／業界	学界・産業界
2	21-7・4行	学界／業界	学界・産業界
3	21-7・13行	学界／業界	学界・産業界